

第 146 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：平成 19 年 1 月 27 日（土） 13:00～17:30

場所：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 812 号室

出席者：鬼沢，萩原，谷，菊池，櫻井，高間（記），三河

議事（資料 146-0）

1. 前回議事録の確認

2. ML 審議済事項の報告（資料 146-0）

3. 支部研究部会の事業報告・計画のウェブ化（資料 146-2）

・谷副会長より事業報告・計画受付 WEB システムのシステム開発契約に関する説明があり，納品物の明確化や仕様書の作成などについて，事業委員会に再検討を依頼し，次回理事会で審議することとなった。

・契約書における委託者は会長とすることが了承された。

4. 公開ソフト・叢書発行について（資料 146-3）

・谷副会長よりソフトウェア公開依頼契約書について説明があり，継続して検討していくこととなった。

・叢書について菊池理事より現状報告があった。

5. 支部・研究部会の今期事業報告と来期への事業計画提出のアナウンス（資料 146-0）

・高間理事よりスケジュールについて説明があり，承認された。

6. 会計報告（資料 146-4）

・櫻井理事より説明があった。

7. 会誌カラー印刷請求方法の変更について（資料 146-5）

・櫻井理事より依頼原稿の追加別刷り料金を外税とする旨説明があり，了承された。

8. 電子ジャーナル WG より（資料 146-6）

・高間理事より進捗状況について報告があった。

・論文投稿状況について，2006 年は一般投稿が例年より大幅に増加し，特集号と合わせて 116 件の投稿があったことが報告された。

9. 広報担当業務について（資料 146-7）

・三河理事より，現行のサーバ業者との契約を行った旨などの報告があった。

・JSTAGE のジャーナル公開システムのヘッダデザインについても議論した。

10. 横幹連合ミーティング報告（資料 146-8）

・菊池理事より報告があり，ロードマップ作成について各自案を作成し，次回理事会にて議論することとなった。

11. IFSA industrial application 賞の推薦について（資料 146-9）

- ・鬼沢会長より説明があり，今後理事会で投票の上決定することとなった。

12. IFSA fellow の推薦について（資料 146-9）

- ・鬼沢会長より説明があり，今後理事会で投票の上決定することとなった。

13. 次期理事会メンバーのオブザーバ参加について

- ・次回理事会より，次期理事会メンバーにオブザーバ参加を呼びかけることとなった。
オブザーバの旅費については理事会より支給することが承認された。